

科目名	化学療法学1			ナンバリング	PHA242	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	金容必	担当教員	金 容必、福地祐司○				

授業の概要	化学療法薬(抗生物質と合成化学療法薬を含む)に関する基礎知識(歴史、製造及び試験法、作用機作)を理解し、感染症治療への応用ができるようになるために必要とされる各種化学療法薬に関して解説する。						
到達目標	1化学療法薬の発展のあゆみや果たしてきた役割を説明できる。 2 化学療法薬の選択毒性について説明できる。 3 様々な化学療法薬の構造による分類、有効な感染症を列举し、作用機序や副作用について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	各回のテキストの範囲を熟読することにより予習をし、授業に臨むこと。また、毎回学習した内容を整理して、ノートにまとめること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
		1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
		3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①化学療法について説明できる。 ②化学療法薬の選択毒性について説明できる。 ③各抗細菌薬の基本骨格の分類ができ、有効な感染症について説明できる。 ④各抗細菌薬の作用機序について説明できる。	①化学療法薬の歴史的な流れと感染症における化学療法薬の役割について概説できる。 ②抗細菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類ができ、症状に応じて適切な抗細菌薬を提案することができる。 ③抗細菌薬の代表的な副作用なら並びに併用禁忌について解説するすることができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					100%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			5回以上の欠席は受験資格なし。

課題、評価のフィードバック	1 中間、期末解答用紙は、学生に開示して点数の確認並びに不正解の問題を解説する。 2 最終成績が60点未満の学生には一定の学習時間をおいて再試験を受けさせる。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	発展の歩み（金）	化学療法薬の歴史的な流れと感染症において化学療法薬が果たしてきた役割を解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1, ア-C4-③-1
	第2回	選択毒性とは（金）	選択毒性について解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1
	第3回	作用機序(細胞壁合成阻害Ⅰ)（福地）	細胞壁ペプチドグリカンの生合成について解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1
	第4回	作用機序(細胞壁合成阻害Ⅱ)（福地）	細胞壁合成を阻害する化学療法薬の作用機序を解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1
	第5回	作用機序(タンパク質合成阻害)（金）	タンパク質合成を阻害する化学療法薬の作用機序を解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1
	第6回	作用機序(DNA、RNA合成阻害)（福地）	DNA、RNA合成を阻害する化学療法薬の作用機序を解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1
	第7回	作用機序(細胞質膜機能阻害)（金）	細胞質膜機能を阻害する化学療法薬の作用機序を解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1
	第8回	中間試験（金、福地）	1～7までの理解度を確認する。	
	第9回	抗細菌薬各論(β-ラクタム薬Ⅰ)（福地）	β-ラクタム系抗菌薬を基本骨格に基づいて分類する。代表的なβ-ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症について説明する。β-ラクタム系抗菌薬の副作用も解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-⑩-1 E2-(7)-①-1
	第10回	抗細菌薬各論(β-ラクタム薬Ⅱ)（福地）	β-ラクタム系抗菌薬を基本骨格に基づいて分類する。代表的なβ-ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症について説明する。β-ラクタム系抗菌薬の副作用も解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-⑩-1 E2-(7)-③-1～10
	第11回	抗細菌薬各論(アミノグリコシド)（福地）	アミノグリコシド系抗菌薬の基本構造について説明する。アミノグリコシド系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症について説明する。アミノグリコシド系抗菌薬の副作用も解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-⑩-1 E2-(7)-③-1～10
	第12回	抗細菌薬各論(マクロライド、テトラサイクリン)（金）	マクロライド系とテトラサイクリン系抗菌薬の基本構造について説明する。抗菌スペクトルと有効な感染症について説明する。マクロライド系抗菌薬とテトラサイクリン薬の主な副作用も解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1, E2-(7)-③-1～10
	第13回	抗細菌薬各論(ペプチド系、その他の抗生物質)（金）	ペプチド系およびその他の抗菌薬の抗菌スペクトルと有効な感染症について解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1, E2-(7)-③-1～10
	第14回	抗細菌薬各論(サルファ薬、キノロン薬、抗結核薬)（金）	サルファ薬とキノロン系薬の基本構造について説明する。抗菌スペクトルと有効な感染症について説明する。キノロン系薬の主な副作用も解説する。また、代表的な抗結核薬を列举し、作用機序と主な副作用を解説する。	SBO:C14-(5)-2-1 E2-(7)-①-1, E2-(7)-③-1～10
	第15回			
	試験	全講義終了後に期末試験を実施する。試験範囲は9～14までの理解度を確認する。（金、福地）		
授業の進め方		基本的には講義と質問応答とする。		
授業外学習の指示		配布資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教員に質問して確認しておく。次回の予習は教科書を用いて担当箇所を読み概要を理解しておく。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	「化学療法学－病原微生物・がんと戦う－」 金 容 必 他、南江堂、ISBN 978-4-524-40248-9 C3047
参考書	なし
参考URLなど	なし
その他	中間試験(50%)および期末試験(50%)の試験結果に基づいて評価する。 薬剤師として求められる基本資質⑤ アドバンス 7%